

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名 | ゼロカーボン推進室

件名	使用済紙おむつリサイクル実証実験を公開します！
アピールポイント	鹿島市と太良町で取り組む「広域連携SDGs」の事業の一つとして、使用済み紙おむつリサイクル実証実験を行います。この実験は、使用した紙おむつを、パルプとプラスチックと汚水にリサイクルする事業で、ごみの削減及びCO2削減につながります。 また、この実証実験は佐賀県初の試みです。
説明	1. 事業名 使用済紙おむつリサイクル実証実験業務 2. 日時 令和6年4月17日(水)13:30~14:30 3. 場所 株式会社有明清掃社 住所 佐賀県鹿島市三河内大木庭70 電話 0954-62-4324 ※ 参加される方は事前申し込みをお願いいたします。
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	ゼロカーボン推進室
氏名	室長補佐 江島 美央
TEL	0954-68-0140
FAX	0954-63-2127
Mail	zerocarbon@city.saga-kashima.lg.jp

使用済紙おむつリサイクル実証実験について

1. 目的・概要

現在、鹿島市内で発生する使用済紙おむつは、さが西部クリーンセンターにて焼却処理をされている。使用済紙おむつは、焼却すると排泄物由来の含水率が高いため、最初は燃えにくく助燃が必要となるが、ひとたび燃え始めるとプラスチック類の燃焼により、高温となり焼却炉壁を痛める可能性がある。

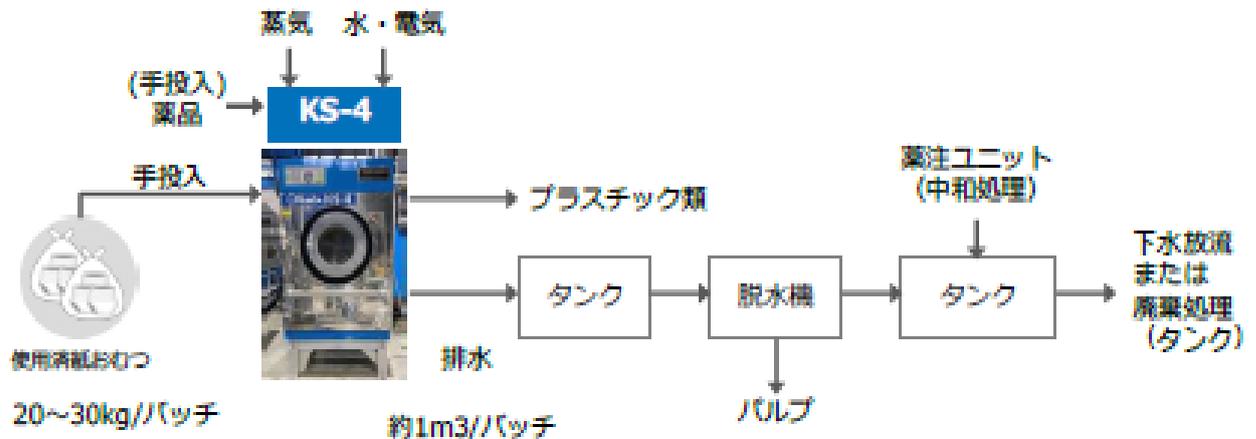
今後、高齢化が進むにつれて使用済紙おむつの排出量は増加傾向となるため、使用済紙おむつのリサイクルにより、循環型経済社会の構築、温室効果ガス排出量の削減、焼却施設の負担軽減・延命化が求められる。

本実証事業では、保育園から排出された使用済紙おむつを対象に、クリタサムズシステム（試験用使用済紙おむつ分別装置名：KS-4）を用いて、使用済紙おむつをプラスチック類とパルプに分別処理を行い、各資源化素材の状況を確認する。また、鹿島市内で発生する使用済紙おむつ推定量を基にCO₂排出量削減効果の試算を行い、鹿島市内や近隣市町を巻き込んだ使用済紙おむつリサイクルの事業化を目指す。

2. 実証事業場所

株式会社有明清掃社

3. 使用済み紙おむつの処理フロー



約90分

図1 使用済み紙おむつの処理フロー